

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		商店街（代表者）	お客様の様子	・9月は天候が良く、3連休が2回続いたことに加え、音楽イベントなどもあり、かなり来街客が増加している。その中には県外客や、ベビーカーを押したファミリー層が多く、また、買物袋をたくさん持っている姿もよく見掛ける。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・マッサージショップでは、これまでは30分コースがほとんどであったが、最近では50分コース、70分コースが増えている。また、高級な輸入食器や家具・雑貨売場でもソファなど値段の高い商品が売れている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数及び売上高を前年と単純に比較すると減少しているが、催事の開催月の変更等を考慮すると売上高は前年同月を上回っている。その主な内訳は、婦人ファッション・ブランド商品群は健闘し、催事関係の高額商品も増加している。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・来客数は、前年より若干下回っているが、いい物をしっかり見極め、金額が高くても購入するという傾向が見られ、客単価が上昇している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・残暑の影響により、夏物商品が売れており、かつ秋冬物の比較的値段の高い商品が良く売れている。従来よりは客単価も高くなっている。
変わらない		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・初旬から中旬にかけて暑い日が続き業務店での販売が好調であったが、下旬には販売量が落ち込んでおり、トータルでは昨年とほぼ同じである。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・大型スーパーなどで安売りが続いているため、専門店は値段を下げざるを得ない状況にあり、なかなか売上が伸びない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価、買上点数ともに横ばい状態で変化はない。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・客単価は前年比で3%程度減少し、来客数も前年を下回っている。特に衣料品、住関連商品については、前年を10%近く下回っている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・競争相手の増加により、来客数が減っている。また、常連客の購買単価も少し減っている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数が3か月前に比べて減っているが、売上高は、前年並みで推移している。しかし、昨年、台風の影響で売上が落ち込んだことを考慮すれば、実質若干のマイナスである。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・安いランチはコンスタントに出るが、会食については、注文が少なく、客単価も安く抑えられたままである。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・愛知万博の影響で客が減り、販売量が伸びない。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数は若干増えているが、客単価が上昇しないため、売上高は横ばい状態が続いている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・湯水、総選挙が影響し団体旅行が幾つか取りやめになり、多少マイナス要因はあったが、東京へのホテルや航空券、秋の連休を利用した東北、北海道へのグループ、家族旅行などが昨年と比較して多く、先月に引き続き売上は順調に推移した。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者は予想していたより少なかった。
		設計事務所（職員）	販売量の動き	・営業物件は少なく、販売量も依然として低調な状態が続いている。また、競争相手においても、販売量は昨年に比べて低下している。
やや悪くなっている		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・衝動買いをする客が増えてきたが、単価の低い商品に限られ、単価の高い商品の動きは相変わらず悪い。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店のチラシ広告を入れる頻度が増加し、その上、チラシ商品の販売価格も上昇しており、あまりいい傾向ではない。

		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・既存店の来客数の前年比を見ると、101.5%と3か月前の105.9%から4.4ポイント悪くなっている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・広告やイベントなどの施策を行っても来客数が伸びない。商品では薄型テレビが好調に推移しているが、白物家電が落ち込んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ガソリンの値上げなどが自動車販売に悪影響を及ぼしており、販売量は前年と比較すると大幅に減少している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・各種イベントを実施しても、来客数、受注台数ともに前年を下回っており、販売量はかなり減少し前年比82.6%となっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の様子、売上高、単価ともに、3か月前と比べて良くない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜に飲みに出る人が減っており、売上が増加しない。
	悪くなっている			
企業動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品が好調に推移しており、売上が前月と比べて良くなっている。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・良い商品を求める動きがあり、明るい材料が見られる。
		建設業（総務担当）	競争相手の様子	・マンションの建設ラッシュが続いており、特に県外業者の積極的な活動が目立っている。先日も当地の一等地の公共用地を県外業者が落札した。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・家庭紙の受注は依然として悪いが、クリーナー関係の受注が少し増加してきた。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事が減少するなか、建設投資を民間需要が下支えする構図が鮮明になっており、クレーンの稼働率は好調に推移し、前年を上回る需要が依然として続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注が比較的堅調に推移してきたが、その内訳は、海外からの受注による特殊要因であり、国内需要から生じたものではない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備投資の案件が少なくなった。
	やや悪くなっている	輸送業（支店長）	競争相手の様子	・同業者の話を見ると、益明けから物流の落ち込みが続き9月に入っても回復の兆しはなく、各社ばらつきはあるものの前年同月比で5%～10%程度落ち込んでいる。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・原油価格の高騰により、ほとんどの原材料、資材関係で単価が上がってきているが、原価の上昇をそのまま販売価格に転嫁することは難しく、厳しい状態が続いている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	それ以外	・派遣社員の契約継続率が非常に高くなっている。
		人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・紹介予定派遣で直接採用する企業が増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・来年度は採用増（団塊の世代退職問題、景気改善傾向等が要因）が期待され、各社は「昨年と同様のやり方では良い人材は採用できない」という意識があり、求人企画に高い関心を示している。
		求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・求人数も求職数も、職種を問わず上昇している。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・新卒の募集について、大口の求人はないものの、多数の事業所より求人が出ており、全数は昨年より増加している。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で増加に転じている。産業別で見ると、運輸業、卸小売業、サービス業で減少したが、今まで採用を手控えていた企業から求人があるなど、その他の業種では増加し、また派遣業でも増加しており、全体では2けたの増加となっている。また、月間有効求人倍率は、前年同月比で、7か月連続の上昇となっている。
変わらない	民間職業紹介機関（所長）	求職者数の動き	・例年、賞与時期が終わると現職の求職登録が増えてくるが、今年はその傾向が少なく、逆に完全失業者の求職登録数が増えている。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-